

# 令和6年度 学校研究の概要

## 1. 研究の概要

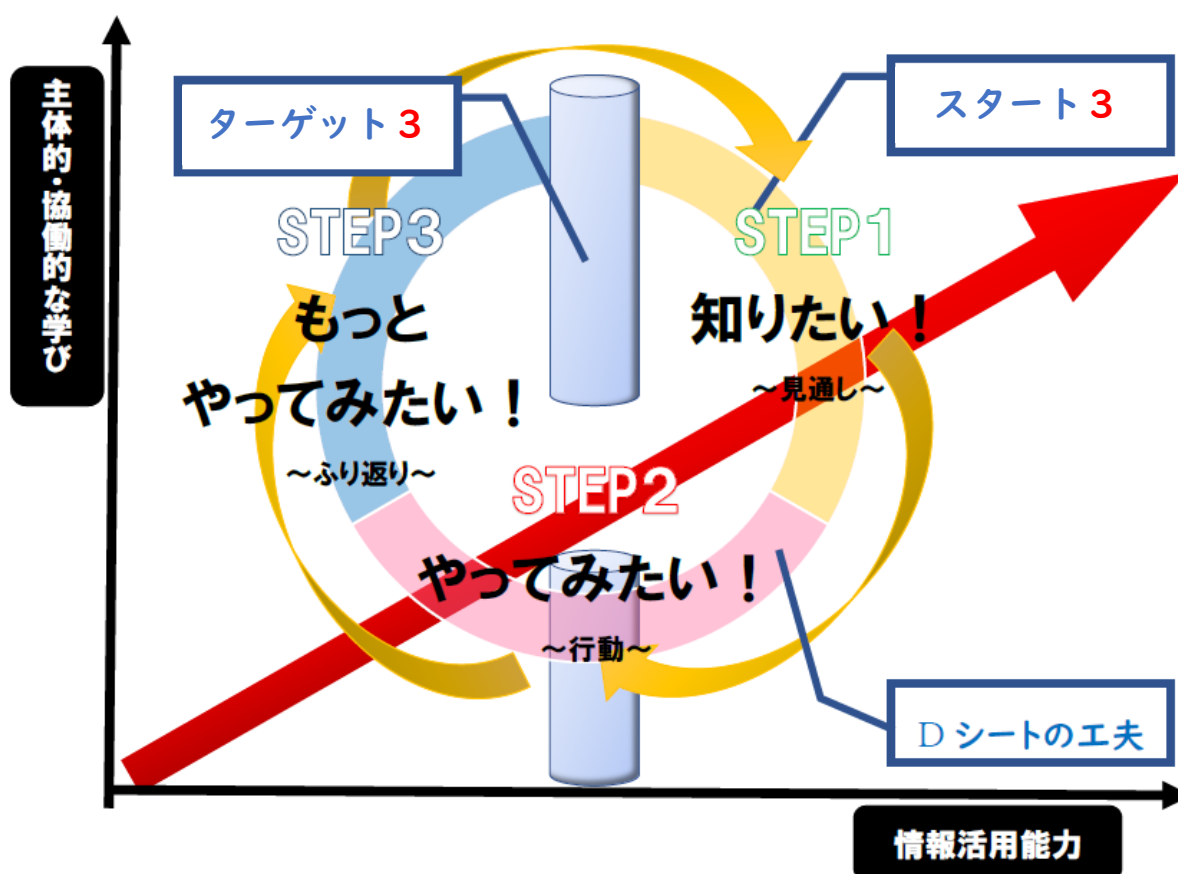
### (1) 研究主題

「知りたい」、「やってみたい」、「もっとやってみたい」児童の育成

### (2) 研究仮説

児童と付けたい力を共有し、情報（導入、課題提示等）の提示の仕方を工夫することで、3ステップサイクルを回し、主体的、協働的な学びを可能にすることができるであろう。

### (3) 研究構想図（スリーステップサイクルの授業づくり）



導入	STEP1 (見通し)	スタート3で見通しをもつ (自力解決)
展開	STEP2 (行動)	自分から学び合いに行く (自己決定)
まとめ	STEP3 (ふり返し)	まとめにつなげる
適用	STEP1 (見通し)	他の問題でもできるのかやってみる (自力解決)
	STEP2 (行動)	自分から学び合いに行く
	STEP3 (ふり返し)	ふり返る

## 2. 共通実践(3ステップサイクルの授業の実現のために)

(1) ターゲット3 (=付けたい力)の共有 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③学び方

ターゲット3

ゴール

① 視点の違いに目をつけて読み、感想をまとめる。

② 登場人物の心情や人物像をとらえる力

③ 友達の考えと比べながら学び合う力

### ターゲット3

- ① ( )する辺 ( )する角, ( )する点に着目して図形の性質を考えたり, 図形を書いたりする力。
- ② ( )という見方で図形をとらえ, 図形の性質について説明する力。
- ③ 目的をもって学びに向かう力

《単元のゴール》

アルファベットの仲間わけのヒミツを解き明かそう!

○○○な図形	
A, B, C, D, E, K, M, T, U, V, W, Y	
□□□な図形	○○○な図形 □□□な図形
N, S, Z	H, I, O, X
○○○な図形 □□□な図形	ない
F, G, J, L, P, Q, R	

(2) 情報の与え方の工夫

ゆさぶる発問, 深める問題, Dシート(選択できるシート, ヒントシート), 思考ツール等の活用



《貴族のくらしや文化を調べよう》

立の高い貴族が住む住居形式のこと。毎に施した「窓殿」を中心に、東西北の三方に配した「列の扉」を「窓殿」という廊下で結びます。

- 平安中期に成立した貴族の住宅形式
- 寝殿造のやしきで暮らし、和歌や蹴鞠をして楽しんだ。

年中行事

- 東部…男性の服(圓には尺、手には尺を持っていた)
- 十二単…女性の服(袴、袴袴、直、直袴、双六、馬高、和歌(小倉百人一首))
- 京式部
  - 平安時代にかな文字が誕生した
  - 「ひらがな」の発音で源氏物語がえきた
  - 増少納言
  - ・絵巻子
- 日本風の文化(国風文化)

祝詞造り(しんまんづくり)

結果

① 葉をとったホウセンカ

② ぶくろいの内側を観察する

③ 葉がついたホウセンカ

まとめ

- 葉からくきを剥ぎ取ってきた水は、主に「国」から「葉」に出て出ていきます。
- 葉からは、水蒸気が出ていくなかがあります。植物のからだの中の水が、水蒸気となって出ていくことを、「蒸」だといいます。

ふりかえり

予想通り蒸発していた水蒸気となって出ていくことを蒸散ということを知りました

内側に水滴が多かった。

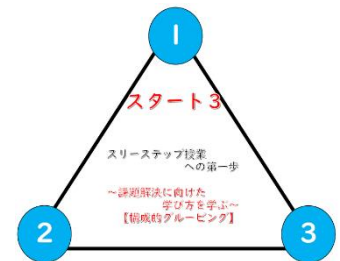
内側に水滴が少なかった。

(3) スタート3

意図的グルーピングからスタートし, 3ステップサイクルの授業スタイルを習得し, 自由な学び方の実現を目指す。

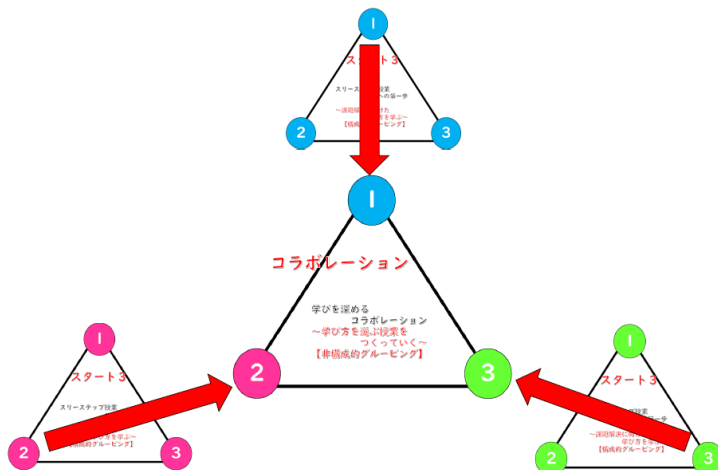
【意図的グルーピングのねらい】

- ① 効果的な複線型授業の実現のため
- ② 若手育成の視点から, より共通実践の質の向上を目指すため



(4) コラボレーション(自己決定)

課題解決のために, 学び方(学び合う人, もの, 場所)を選択する。



## 【自己決定の視点】

自己決定の視点	児童の思考・動き	教師の手立て
ばっちり	他の問題でもできるかな。	他の問題を与える。
	他の考え方はないかな。	友達の考えを可視化して他の考えの児童との学び合いを促す。
	まちがえやすいところは	誤答例を説明きりよう促す。
解決できたけど、説明が…	どうやって説明すればいいのか聞きに行きたい。	「ばっちり」の人に聞きに行く。
ちょっと難しいな…	この後どうすればいいのか聞きたい。	Dシート(ヒントカード)を提示する。

### 3. 評価・検証方法

#### (1) 重点教科で検証

- ・「共通の軸」に基づいた児童の単元の目指す姿に対するの定着度を検証する。
- ・学び方について検証する。

①1 学期重点単元で検証 ②2 学期重点単元で検証

#### (2) 児童アンケートで検証

- ・学び方(スタート3, コラボレーション)について児童の意識を検証する。  
教師の見取りと, 児童アンケートの結果から, 授業改善に生かす。

①1 学期重点単元で検証 ②2 学期重点単元で検証

#### 【研修会について】

##### ★研究推進委員会(推進委員)

研究の進捗状況の確認や共通実践のアップデートを図る。(月に1回程度行う)

##### ★校内研修会(全員)

研究の進捗状況や共通実践のアップデートを全体で共有する。(2か月に1回程度を行う)

##### ★指導案検討会(低学年ブロック・高学年ブロック)

要請訪問の指導案検討を行う。(訪問日の1ヵ月程度前に行う)

##### ★模擬授業(全員)

要請訪問の模擬授業を行う。(訪問日の2週間程度前に行う)

##### ★授業整理会(全員)

要請訪問の授業整理会を行う。(訪問後に行う)